



育児支援サービスには不満 緊急課題はゴミ対策

今住んでいる街の住み心地はどうか、満足度の最低は「育児の施設、サービス」、次が「体育館などの公的スポーツ施設」、3番目に「子供のための良い学校や教育環境」と「総合病院などの医療施設」が挙げられた。少子高齢化社会の到来に向けて、さまざまな施策が施されているのだが、女性にとってその実感は薄いようである。

すぐ税金を投入してほしいことは、「ゴミ対策等環境問題への取り組み」「道路・交通環境の整備」「高齢者対策」「育児支援」「地震・洪水等災害対策」と、毎日の暮らしに密着した課題が上位に並んだ。都県により差が見られ、23区民と神奈川県民は、ゴミ対策に、都下、千葉県、埼玉県の住人は交通環境の整備に最大の関心を寄せていた。

横浜市の新税導入案に対して、横浜市民は賛成30%、反対25%、45%はわからないと答えた。だが、場外馬券売場や風俗店への課税は賛成が8割前後。自分ではなく、収益を上げていそうな所から税金をとるにはかまわないということか。

首都機能移転について、東京都民は反対が58%と半数を超えている。しかし、わからないが26%あり、判断材料の不足もありそうだ。東京都は反対の立場を鮮明にしている。

調査概要

リビング新聞2000年10月14日・21日付 首都圏12版の紙面掲載アンケート 応募総数2976通、女性からの2394通を集計

平均年齢 41.8歳

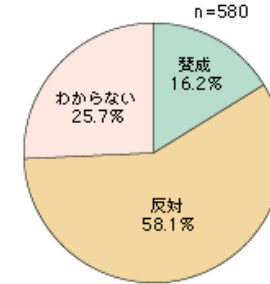
居住地域 東京23区 549人、東京都下344人、神奈川県709人、千葉県526人、埼玉県243人、茨城県10人

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

首都圏移転について



<レポート集計項目>

- 1.緑地や公園の満足度 (都府県別)
- 2.図書館等の公的施設の満足度 (都府県別)
- 3.文化的施設・運営の満足度 (都府県別)
- 4.公的スポーツ施設の満足度 (都府県別)
- 5.総合病院等医療施設の満足度 (都府県別)
- 6.学校や教育環境の満足度 (都府県別)
- 7.商業施設の充実の満足度 (都府県別)
- 8.物価の満足度 (都府県別)
- 9.育児施設・サービスの満足度 (都府県別)
- 10.周辺住民の感じ良さの満足度 (都府県別)
- 11.利用鉄道の利便性の満足度 (都府県別)
- 12.将来の居住意向 (都府県住居別)
- 13.今後行政に望むこと (都府県別)
- 14.すぐに税金を投入してほしいこと (都府県別)
- 15.自分たちも思わなくてはどう思うこと (都府県別)
- 16.税金についての考え方 (都府県別)
- 17.年代 (都府県別)
- 18.同居家族数 (都府県別)
- 19.職業 (都府県別)
- 20.就業形態 (都府県別)
- 21.居住形態 (都府県別)
- 22.居住年数 (都府県別)
- 23.首都機能移転について(東京都民に尋ねた)
- 24.JRA場外馬券売り場の課税(横浜市民に尋ねた)
- 25.風俗営業店の課税(横浜市民に尋ねた)
- 26.横浜市独自の税をつくること(横浜市民に尋ねた)